

講師紹介



独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター名誉院長、WHO 物質使用・嗜癖行動研究研修協力センター長。

1979年東北大学医学部卒。米国立保健研究所留学、久里浜医療センター副院長、同センター院長などを経て現在に至る。WHO 専門家諮問委員、内閣官房ギャンブル等依存症対策推進関係者会議委員など委員多数。

慶應義塾大学客員教授、藤田医科大学客員教授を併任。

2011年7月にわが国で最初にネット依存専門診療を始めて現在に至る。ゲーム症の疾病化に関して、当初からWHOに全面的に協力してきている。令和4年3月に久里浜医療センターを退職後も同センターでネット・ゲーム依存の診療や研究を続けている。

「ゲーム・スマホ依存から子どもを守る本」出版（法研）

託児申込みの皆さんにお願い

- ・託児申込みについては、キャンセルが多発しています。必要性を御確認の上申込み願います。
 - ・託児については、お子さんの体調チェックと持ち物等、準備するものがあります。
 - ・託児中に体調が悪くなった場合や、託児のお子さんがお一人でも、感染症とみられる症状(嘔吐等)が確認された場合は、講演中であっても託児を中止する場合があります。
- 御理解、御協力をお願いいたします。

来場される皆さんにお願い

- ・事前に体調不良がないかの確認をお願いします。
- ・自然災害や感染症等で開催方法が変更になる場合があります。島田市のホームページ、しまいく等でお知らせしますので、確認の上、御参加願います。
- ・講演会は託児付きですが、**お子様も一緒に**御参加いただけます。
- ・駐車場は庁舎工事のため、台数に限りがありますので、出来るだけ乗合いや公共交通機関での御来場をお願いします。また、無料駐車場が満車の場合は、近くの民間有料駐車場のご利用をお願いします。